

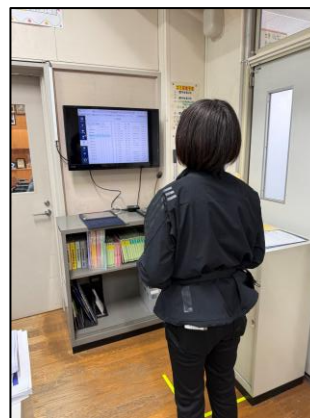
リーディングDXスクール事業【実践事例】

鹿児島市立玉江小学校（鹿児島県）【指定校】

【取組内容】「校務DX」クラウド型教育プラットフォームの活用

本校ではこれまで欠席連絡をする際に、有料のメールシステムを活用していた。そこで、今年度、クラウド型教育プラットフォームでの連絡方法に変更し、保護者一人一人に児童のアカウントを関連付けた保護者アカウントを配布した。欠席の情報を、担任が職員室にあるモニターで確認したり学級にあるタブレットで確認したりすることができるようになり、教員の負担軽減につながった。

また、これまで毎週紙媒体で保護者に配布していた学級通信を、クラウド型教育プラットフォームで配信することにした。そうすることで、職員の印刷する時間や配布する時間の短縮につながり、業務改善につながった。



【モニターで確認】



【配信された時間割】